京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

發行所 京城 京城新報社
仁川支局
東京支局

面及洞に關する舊慣制度（七）（朝鮮總督府調査）

甲午以後に於ける面及洞（四）

第二項　職員任免及職務權限

面長の職務（其の二）

（四）出產家族證明規則に依る認證法の規定に依れば如事務は洞長に專屬すべきも面長を經由せしめ其の確實を期するは各地共其取扱を同ふせるが如し

（五）民籍の異動報告（六）面内情况の報告（七）地圖書類の進達（八）其他郡衙、警察署、憲兵隊、守備隊等地方諸官署より臨時命を受け面民に關する事務を處理す

面長は又面の公共的團体としての事務を處理するも都邑の面を除きては其事務甚だ少なく殆んど國の行政事務機關と稱すべし

二、公錢徵收員。

國稅徵收法に規定せる面に於ける徵稅事務の機關なりと雖も實際に於ける徵收は前に一言せる如く或は面長洞長之に當り或は別に任員なるものありて徵稅に從事する地方もありて公錢領收員が實際に徵稅に從事するは殆んど稀なるが如し

三、書記。　仁川府内面及釜山附近の面にては書記、通譯、幹事又は事務員雇等を置けるも他は多く事務繁忙の際臨時に傭ひ入るゝの外常時之を置けるを見ず。

四、下有司。　面の小使なり

五、面主人　面に隷屬するものにあらずして寧ろ郡衙に屬す從來は郡衙の使令之を兼ねたりしも現時は郡衙に多數の使令を置く能はざれば嘗て使令を勤めたる者等之に當り郡衙の所在地に居住し郡衙より面に發送する書類を傳達するを以て其職務とす或は地方によりては其擔當面の面長又は面民が郡衙所在地に宿泊する時面主人の家に寄食するの慣例ありと云ふ

洞の機關

（一）洞長。　洞長は洞民之を選定す近時は洞民の推薦により面長之を撰定し郡守の認可を得るを一般の例とせるものゝ如し洞長は國の行政事務に關しては面長の補助機關として實際其事務を處理す又洞公共事務に關しては其執行の任に當り洞民公私に關する世話役たり

（二）頭民。　洞民の解事者中より年長人望ある者を推擧す洞長を補佐し洞公共事務に與り洞民の爭訟を裁斷する等事實上の洞の統率者なるのみならず面公共事務の審議に參與し面事を決す

三、解事人、知事人、有志者、有力者と稱するは比較的才識あり人望と資產とを有する者にして洞公共事務に關しては常に其協議に參與し洞事を決するのみならず公共事務に關し其協議に參與すること頭民に同じ

雜錄

汽車の六分間　曉香生

汽車は龍山を出て漢江を渡り、永登浦及び始興を經て午後一時頃、安養驛に着した、乘客は皆栗を拾はんとて車室から溢れ出た。

安養驛の前の岡には紅白の幕が張られてる、入口の處では係員が、會員券を受取つて居る、私等も場内の岡に登つた、眞先きにどもう栗の樹の下にあつて居るものを見受けた、雁のロボより先がけて長い竿で、栗の樹を叩いて實を落して居るものもある、數十本の栗の樹にたかつて其組々が働き振りを現はさうと、會員皆專心努力して毬をむいて攜へた籠に或はポッケットへ押込めて居る、私も袂の中へ數十個の栗の實を拾ひ入れたのである。

ヨボの竿で拂ひ落すを、樹の下に艶なる令夫人が、懸命に毬を下駄等で踏んで、竹へらでむいてる對照が餘程よかつた。

汽車を待たせて、半日の遊びは鐵道局でなければ出來能ふものでない、その上亦酒肴の用意周到なる栗飯まで出來たのである。

二時間程大いに活動して、如何なる人も袋や風呂敷に、見込通り拾ひ得た時、テントを張つた所や莚の敷かれた所に、れのがもゝ御輿を据ゑて、今日を愉快に正宗をやるもの、氣焔萬丈に知人を訪ふもの、サイダーをやるものは談ずるに足らんが、まあ捨て置いて栗飯を早くも頰張らしむべく、給仕の連中が婦人席へ食器を運ぶと、櫻色の令夫人連が箸を取る、流石に婦人席にはアグラをして居るものはなかつたらふ、今日の會には何處の新聞記者も居なかつた、道樂に寫眞を撮した者は一人あつた、私はスケッチ帖に酒保と婦人席と枝なりの栗を肩にして、醉歩蹣跚として天下の英雄眼中に……何んとやら云ひ出しさうな人どをも、一筆書きに寫した、折があつたら拙畫だけれども、讀者諸君に御見に掛けたい、午後四時半頃會員一同滿足して、安養驛に待たせて置いた汽車にててんでの家に歸途に着いた、此文を執筆中圓滿な月は雲間に現はれて居たるを多とする（完）（十月七日夜稿野崎小蟹）

外事一束

△地中　海に於ける兩國陸海軍の戰報皆伊の勝利を報ず現在戰局豫測の如し

△土國　皇帝露帝に特使を派す露帝獨帝より賴もし異意知るべし露獸過せん

△土國　最後の手段に出づ關稅十割し居留民を退去せしむ土の活今後に見ん

△淸資　政院開院近し民黨議員活動を見る淸國内外多事其間憲政有害心滲憺

△本溪　湖採炭會社新發展し製鐵所を設け資本倍額し日淸共營舊の如し可々

△東三　日報主筆除罰資より飜譯官を伴ひ露都に向ふ露淸條約改訂の聲援か

△獨佛　交涉一頓挫し公果割讓關鍵となる獨佛共に民論强硬遂に安心不可爲

△西軍　摩國に深入し葡國王黨劍離門根黑驅援地中海兩岸醒亂荒み南歐多事

梁川庄八　小金井蘆洲演

第九回

往時は武士が十五歳に成れば元服をするのが通例に成て居た者です、既に庄太郎十八歳に成て未だ元服をしない、或時和田但馬が岩沼の德兵衛を呼寄せて 但「德兵衛余の儀でもないが、凡そ人たる者は貴賤を問はず、一生涯に修めねばならぬ大禮は、冠婚葬祭の四つである、男は十五歳で元服をするのが例の様に成ている、既に庄太郎は十八歳加冠の年齢を延びて居る、依て今度元服の式を擧げやうと思ふが何うだ」德「誠に難有存じます」但「就ては乃公が烏帽子親と相成て、乃公の家で加冠の式を擧げるが何うだ」德「萬事宜敷御取計ひを願ひます、費用は何程掛りましても厭ひませんから、何うか立派に成すつて戴きたう存じます」但「如何にも承知」と萬事諾合た、幼少にして母に別れ十五歳にして父が非業の最期を遂げた薄命兒だから、元服の式だけは立派に行ひたいと心得られ、同門の朋友を集め、亡父が親交を結んだ人々を招ぎ、最と盛大の式を擧げる事にした、愈々當日但馬の宅に招ぎを受た人々が集る、和田先生が庄太郎を伴て夫へ出て、挨拶を終り鬚て前髪を剃落しました所、却々大人道つて勇ましく、就て庄太郎と云のは幼名であるからと、梁川庄八正國と換ました、式を終て一同宴席に着て、面々祝辭を述べる、夜を徹し、大酒宴賑やかに歡を盡して立戻りました、夫から和田但馬の許を辭して、岩沼の德兵衛の所へ戻て、打節は榴ケ岡へ通つて怠なく勵む事に相成ました、毎月三日には必ず菩提所川崎村の唱名寺へ亡父の墓參を缺かした事がない、住職の永善が父庄兵衛と深く交りました間柄だから、庄八が來るのを待受けて居て過去を追想するから庄八を氣の毒に思い、馳走などをして歡待す、恰度圍碁が互角だ者ですから、何時でも來さへすれば烏鷺の合戰に夜を更かして歸る碁敵は憎さも憎し懷かしゝ、杯と云て非常に興味の深い者と見へます、然るに阿武隈川の邊に夜な〳〵魔怪が出ると云風評、夜に入ては通行する者がない、今日は庄八唱名寺に詣て、夜に入て例の圍碁を樂み、遲くなつたと暇を告げて提灯を借受け只一人、阿武隈川の堤に沿ふて戻て參ります、其夜は雨がシヨボ〳〵降て居るが風はなし、又躓つきもしませんのに、持て居た提灯の燈火がチイーと消へた「ハテ妙だな」と四邊を見廻すと、傍に立て在る石地藏が見る〳〵内に、スウーと伸び上つて爛々として眼を見張て庄八を睨め付けた 庄「ハヽ、此頃世間で噂さする、化地藏と云のは之れだな、此邊で食物を取られたり怪我をする者がある、さ云ふ狐狸の類が假りに此地藏の体を借りて、人を魔魅するのだ、コレ地藏……汝は六道能化の地藏尊でありながら狐狸の類に体を假りられるとは地藏の役を致さん奴だ、人を脅かす憎い狐狸め懲しめてくれん」と腰なる大刀を柄へ手が掛つたと見てると 庄「エイ」と一喝拔打に斬下げた、肩から肋の邊まで美事に、地藏の形は腰から下は臺に殘り、上は大地に落ちた、途端に後方でキャッと悲鳴を上げた者がある、灯を求めて檢べて見るに半面班の古狸が悶死して居る、是は庄八の氣合に打たれて死んだのだ、夫を下げて揚々として德兵衛の家に歸て參りました 庄「今戻か……例に依て碁で遲くなつた」德「オヤ御歸り遊ばせ……夫にしても御歸りが遲うございますから、何か歸途に間違でもと心配を致して居りました」庄「阿武隈の川沿の化地藏を斬て來た」德「何ですと」庄「實は是れ〳〵云々」だと話を致し古狸を見せますと 德「夫は貴郎昔時地藏樣が化けて錫杖を與れたの、ヤレ何を與れたのと云話がありますが、皆虛說で…又如何に柔かい石でも斬れる氣遣ひはございません、如何に貴郎の腕が冴へて居たとて無駄でせう、夫は恐らく樹木の幹でも御斬りなすつたのでせう、無双の男士梁川庄兵衛樣のお子樣にも似合す、夫が魅ましれて居でなさるので、私だから宜いやうな者、人に御話しなさりますな」庄「イヤ乃公も最初は左う思たが、全く斬たに違ひない」德「マア今晩は遲うございますから御寢みなさいまし」と其夜は其儘寢りました、翌朝德兵衛は密と化地藏の所へ行て容子を見ました





外國特電

▲土の逆襲効を奏せず　三千の土耳其軍は九日暗夜を利用しトリポリを取戻さんと進軍せしを伊太利軍は艦隊の援護射撃の下に撃退す土耳其の損害多大なり(倫敦發)

▲伊の遠征隊警戒　伊太利のトリポリ遠征隊は非常に警戒戰鬪艦巡洋艦驅逐艦よりなれる艦隊は六十隻の運送船を護送し夜に乘じ燈火を消して進行しつゝあり

▲伊軍撃退さる　伊軍の一個中隊はトリポリーに於て土國軍隊及び土人の爲めに撃退せられたり(伯林發)

▲伊土休戰布告　伊土兩國は休戰を布告したり獨澳佛の三國は調停を試むべし(伯林發)

北京特電

▲清國武昌の革命亂　北京電報によれば十一日武昌に革命黨三百餘名蜂起し總督衙門を襲ひ各所に放火す官兵は之に應戰し三十名を捕縛し首魁三名を斬首せり電信電話は凡て切斷され總督は何れへか逃走せり

▲南清革命亂猖獗　武昌の革命黨は勢ひ猖獗にて新軍步兵二個聯隊砲兵工兵各一個聯隊革命黨に應し總督及將軍は遁走し事態頗る險惡なり居留民は目下無事なり我南清艦隊對馬隅田の二艦漢口に於て警戒中

▲革命黨漢口に迫る　清國革命黨は激戰の結果遂に漢陽を陷れ兵器廠製鐵局を占領し漢口に侵入せり同地にて滿州人の虐殺されしもの三百餘名に達したり

▲長沙岳州陷落　革命黨の勢力頗る猛烈にして長沙岳州を陷れり

▲第三艦隊の出動　清國革命黨益々猛烈なるを以て我政府は中清に於ける在留民保護の爲め第三艦隊に對し全部出動の命を發したり

▲北京に戒嚴令　清國政府は所在革命亂蜂起に付き北京に戒嚴令を布かんとするの報あり

東京電報

▲下院議長候補內定　衆議院議長長谷場純孝氏入閣せしに就き其の後任者に就き政友會幹部に於て內議の結果多少異論なりしも結局大岡育造氏を推すことに決定せり

▲議會委員會公開內定　前期議會に於て委員會を秘密會としたる爲め各方面の批難を受けしが今期よりは公開する事に內定せり

▲外國貿易順調　本月上旬の海外貿易は依然順調を持續し輸出千百七十三萬七千六百四十五萬四千圓にして五百二十八万三千圓の輸出超過を示し累計輸入超過三千八百万六十圓に減じたり

▲佛領印度經營　佛領印度支那の新總督は今回本國に於て二億法の公債を募集し地方開發新計畫に從事する筈なり其計畫を聞くに二億法の中約半額は鐵道事業に放下し排水灌漑道路衛生事業等にも三四千法を支出し教育にも五六百法を支出すべしと

▲摩洛哥協約　摩洛哥協約の第一步十五日確定せりと傳へらる

▲土宰相の運命　君士坦丁堡に於ては本月十四日議會を開き萬一現宰相サイドパシャが信認投票を得る能はざる時は戰爭繼續論者たる前宰相キャメルパンヤ其後任たらしむべしと云ふ

▲文相の學校視察　長谷場文相は黑澤秘書官を隨へ東京帝國大學、東京高等師範學校其他を巡視したり

▲大演習と外國武官　本邦駐在列國武官にして大演習陪觀を願出たるは英、米、獨、佛、露、伊、墺、清、瑞國の武官なりと

▲大演習と憲兵　本年の特別大演習に參加すべき憲兵は熊本、小倉、久留米の各憲兵隊の外大本營附憲兵として廣島、岡山の憲兵隊より約百五十名の憲兵を演習地に派遣する事となり近々參謀本部より憲兵司令官を經て關係憲兵隊長に命令せらるゝ筈

▲加奈太內閣成る　紐育電報によれば加奈太新內閣成りボルデン氏首相に就職せり

雜報

●學制變更の大要　教育令に伴ふ諸般の附則は勅令を以て去る十一日發布せられ來る十一月一日より實施の運びなるが右實施の結果朝鮮に於ける在來の教育機關に變更を及ぼしたる大要左の如し

△法學校　京城專修學校に變更し科目は大差なし
△外國語學校　廢止して高等普通學校に在來の生徒を收容す
△高等學校　高等普通學校と變更し臨時教育養成所を付屬とし其の生徒を收容し師範學校付屬普通學校は高等普通學校の付屬とす
△高等女學校　女子高等普通學校と改稱す
△各種實業學校　釜山及各道觀察在地實業學校及農業學校は是を實業學校內に包含す但し課目は異ることなし

大要斯の如くにして單に制度を定めたるものなれば此際校長は特別任用令によるも教員等は均しく官吏の待遇を受くることゝなれり

●滿鮮直通協議　安奉線開通に付滿鮮列車開通上の事務打合の爲め鐵道局より建築課長小城技師及佐藤技師の兩氏は目下大連にて滿鐵運輸課長田中理事及其瀨技師等と諸般の協議中なるが右は既に兩者間の意見大体に於て一致せるものあるを以て今回は其の實行上の細目に渉りて取極めを爲し其の決定を待つて遞信省及總督の認可を仰ぐべしと云ふ

●十月上旬朝鮮貿易　十月上旬內地より朝鮮へ移入したる額は百五十六万六千八百七十六圓移出は二十二萬四千八百五十八圓にして百三十四萬二千〇十八圓の移入超過を示し金銀に於ては移入二十五万四百三十五圓に對し移出百十万三千二百五十圓にして八十五萬二千八百二十圓の出超を示せり

●取調局進捗　取調局事務は最も良好に進捗しつゝあるが今同局にて本年一月より六月までに至る上半期の調査完了事項の概要を掲ぐれば左の如し
一朝鮮の國情調査に關する必要の意見書調製
二制度及舊慣に關し調査せし事項左の如し(イ)面及洞に關する制度舊慣調査の大要を畢りたり(ロ)四色制度北邊米制度及三韓三國漢四郡二省高麗及李朝に於ける地方制度の沿革は凡て調査濟となりたり

●京城教育比較　京城府民團立小學校高等女學校及び尋常中學校の生徒數が年々增加に從つて經費の厖大を來すことは言ふ迄もなく教育事業の盛んなることを示して餘りあるが今左に京城の人口對教育費及び小學校々數兒童數並に經費を三府及び橫濱名古屋に比較せし統計を掲ぐべし

▲人口及教育費比較表▼

市名	人口	教育費	一人對教育費
東京	一六三三、〇七九	一五八七、七二一	〇、九七八
橫濱	三八四、二二八	三三七、一四〇	〇、八七六
名古屋	四二一、二三九	三三九、五三〇	〇、八〇二
京都	四七二、一〇〇	五四七、一三五	一、一五八
大坂	一三三九、三八三	二八六、三四九	一、二九〇
京城	四四、七四九	一二八、七三八	二、八七六

▲小學校々數兒童數及經費▼

市名	校數	兒童數	經費
東京	一七	一四二、〇八〇	一四五二、四九〇
橫濱	三〇	三二、四五三	三三六、七三一
名古屋	五一	三六、七四九	二七五、一三四
京都	六五	四三、四七	四二五、〇三五
大阪	六五	一〇三、二七三	二三六、八五五
京城	四	四、四八五	八〇、二一九

●蟹漁業の試驗　日本に於て水產物の輸出中蟹の罐詰が歐米市場に歡迎さるゝにいたりしは最近のことに屬せるが夫れが爲め北海道樺太其他の生產地に於ては斯業頓に勃興し從つて今や原料の不足を來しつゝあり然るに朝鮮に於ては蔚山灣以北の東海岸には蟹の棲息頗る多なるにも不拘從來土着鮮人の不完全なる漁業に一任するに過ぎず漁業開發上誠に遺憾の次第なるより朝鮮海水產組合にては昨年より本年に掛け水產試驗事業の一として蔚山灣口より迎日灣口に至る沖合に於て蟹漁業試驗を行ひたるに成績相當に好く將來有望なる事業なることを確めたりといふ尤も右試驗期間中は風力強く從つて作業上の困難甚だしく爲めに豫定の如く充分試驗を行ふ能はざりしも大体に於て其の狀況を知るを得たるが唯之れが試驗漁業は狹隘にしてたらばかに、ひらばかに等の來遊殆んど皆無なるを以て北海道樺太等の罐詰事業の如く盛んに之れが製造を行ひ夫れと同等の製品を得ることは不可能ならんも福井縣地方の事業を移し刺網を以て海獲に從事しなば其の有利なること言ふ迄もなかるべしとのことなり

●定例長官會議　十三日は長官會議の定例日に付午後一時より會議室にて寺內總督以下各部局長官出席政務の打合せをなす

●李王總督邸御成り　既記の如く昌德宮李王殿下には十三日午前十一時御出門尹贊侍李秉武玄百運を隨へ總督官邸に御成りあり總督專任の祝詞を述べられ約二十分間にして德壽宮に成らせられ同宮にて李太王殿下と御會食の上午後一時歸宮されたり

寄書

人類學者泰斗スター博士來る(一)　消軒學人

記者足下、今や一大學者は京城に來れり、然も其來るや音なく聲なく只一紳士として着したるを以て世人は斯の如き一大明星の此地に在るを知らざるべし、而して博士は到着の日より別に人に知られんことを求めず只研究に餘念なく、然も余輩は斯の如き名士の通過を默止すべきに非ず、博士の北行より歸京の時を俟ち一場の講演を乞ひたるに其の快諾を得たり依つて十數日後には有志者は博士の高說に接するの光榮を荷はんに依つて今茲に博士の面影の一二を紹介し世人をして博士の如何なる人なるかを知らしめんことを欲し茲に左の短篇を寄することゝなれり

スター博士は米國市俄古大學人類學の教授にして其學殖の深遠なる、其識見の卓越なる實に拔群にして其名望嘖々として世界の學者間に稱讚せらる、嘗て市俄古に於て世界の原始時代の人種の標本人間を集め一般公衆に接せしめ大に研究の區域を擴張したることあり其時には日本のアイヌ、米國のインデアン、アフリカの土人其他數種の標本的人種を集め、各從來自ら生活し來りし儘の家屋を建て、食物を取り又日々の活動をなさしめ以て大に公衆の眼界を擴からしめ、人類學の研究上多大の貢獻をなさしめたることあり、余の友人にして此時アイヌ人の監督者として渡米し親しく博士に就いて學ぶ所あり又此原始人種展覽會に關し觀察する所多く又困難なりしかを余輩に語りしことあり、如何に博士の企ての趣味多く又例令へば殆んど動物の生活に近きアフリカの土人の一團を勸めて其野蠻の故國より氣候變り、境遇異なることと天地の大差ある米國に伴ひ來ることの難事なりしや察するに餘りあり、然も此等の標本的人種が世界文明の華である市俄古の中央に在つて其住馴れし儘の生活を爲し又、此等の人類が同市滯在中は互に相識するを以てもと地角千万里を隔て言語風俗の絕へて相通ふにも拘はらず漸次好情を以て相接し來り遂に朝夕換拶の應答をなし更に贈物を交換し以て友誼的交際を開きたるが如き實に趣味深き出來事なり、此等のことは博士の事業として最も微細瑣屑することなすと雖、然も如何に博士の研究の廣潤なるやを示すの一端とならん。

●軍司令官晩餐會　十四日午後六時より上田軍司令官は龍山の新官邸に寺內總督外三十餘氏を招待し晩餐會を開く筈なり

●東上貴族送別會　寺內總督は十三日午後六時より官邸に於て十五日出發東上すべき李完用伯朴齊純趙重應の兩子のため送別のため晩餐會を開き山縣總監及各部長官朝鮮側前大臣朴泳孝外波中山兩武官兒玉桑原兩秘書官藤波通譯官藤田副官等列席すべしと云ふ

●電燈料引下期　京龍電燈料引下問題に就ては既報の如くなるが其の後日韓瓦斯電氣會社にては右引下に付き監督官廳に交涉し更に其の結果を待つて重役會議に掛くる筈なるが監督官廳にても其の趣意を贊し岡本通信管理局工務課長主として之れが調査に從事し居りしが此程全部完了したるを以て近々の中に發表すべく遲くも年內には實行の運びにいたるべしと

●商工調査會發會式　京城商工調査會は來る十七日午後一時第一回開會を兼ね發會式を擧ぐる由なるが都合に依りては當日役員をも撰定すべしといふ

●商議會頭問題行惱　京城日本人商業會議所會頭問題は其の後久しく行惱みの姿なるが豫て推撰されたる淺野長七氏は本社との關係上承諾し能はざるやの由なるを以て進辰馬釘本藤次郎山口書記長の三氏は十三日午前依頼者たる市原盛宏氏を訪ひ協議依頼するところありたりといふ

●不法に非ざる乎　目下內部土木課が街路取擴げの目的を以て黃金町竹園町に於ける日鮮人の所有地を買上げつゝあることは世人の知るところとなるが、聞くところに因れば內部土木課の評價は土地一坪に付き立退料共金八圓の割合にて被買收者の到底應ずる能はざるところなるも當局にては何んの見るところ有るや若し右の價にて買收に應ぜざる者あらば土地收用令を適用すべしと再三再四高壓的通牒を發するを以て黃金竹園兩町關係の土地所有者間に大恐慌を起しつゝありとの事なるが如何に公共の爲とは云へ相當の賠償を爲さず當局官吏の小功を立てんが爲に個人の利益を侵害せんとするは甚だ不都合と云ふべし

●司令官仁川視察　上田軍司令官は十三日副官二名を隨ひ仁川視察の爲下仁午前九時四十二分仁川驛着同驛プラットホームには久水府尹岩崎民長和田觀測所長大谷裁判長宮館署長樋口助役遠藤技手平田技手服部技手奥田會頭淺井議長仁川郵便局長及仁川在鄉軍人團等の出迎ひあり直ちに岩崎民長の案內にて海岸通りを經て稅關棧橋に至り築港に關する狀態を聽取したる後府廳にて少憩各國公園觀測所等を見正午鮮樓に於て官民有志と午餐を共にし午後一時半尋常小學校陸海軍墓地及桃山町の陸軍所管地等を視察し歸途日本公園大神宮參拜同四時十二分發列車にて歸城したり

●民團稅制調查案　民團議員　中村再造氏談　民團稅制整理に就て余は根本的見地に基きて立案せざるべからずと信ず、即ち民團存廢如何を究めて若し近き將來に於て廢止せらるべくんば切り詰めてなりと現狀にて維持し得可しと思ふ、又京城府以外に立ちて永久に存續する事に決定せば內地人のみに限らず根本的に稅制を改めざる可からず、例へば本町の如き軒を並べて商業を營む鮮人の店は賦課年額十圓位なるに日人側は百圓二百圓を徵收さるゝ有樣では到底競爭に堪ふ可からざる也、余の考ふる所は衛生費、教育費の如きは內地人の負擔とし道路の如きは一般城內の府民に課し十七萬の鮮民も同じく幾分の負擔を頒つに非ざれば五萬餘の內地人に依て三十四五萬圓の經常費其他臨時費の借入を負擔して經營する如きは容易の事に非ざるなり況や來往者の多くは根住の決心なく或は內地に歸り或は尙國に赴き其他地方に移住する者等多く租稅の徵收甚困難なるをや三十四年度決算には約九萬三千餘圓の未納ありて其八分通りは徵收不能と見ざる可からざる有樣にて、一面に於ては民長の不行屆となさゞるべからざれども已むを得ざるものゝ多きは否む可からず、偖て余の意見としては現に角現狀を維持し未納稅金を徵收して民團存廢の明になる迄姑息乍ら安ずる事とし、其內存廢と決定したる曉は日鮮人共通の利害は成るべく其負擔も共通にし以て一方負擔の公平を計り一方財政難を免るゝ樣所謂一時の稅制改廢を避くるを最も可なりと信ずるものなり

●岡野氏出發　今回大阪本社詰となりたる大阪朝日新聞特派員岡野養之助氏十四日午前九時南大門驛發歸坂の途に就くべし

●小倉主計監の歸任　寺川憲兵隊經理事務視察の爲め出張中なりし小倉軍經理部長は十二日歸任したり

●鈴木部長の來鮮　海軍煉炭製造所採炭部長機關中佐鈴木爲重氏は平壤鑛業所視察の爲め來る二十日頃當地に入京の筈

●小田事務官の歸任　東京及臺灣沖繩等の各地に出張中なりし小田學部事務官は十五日夜歸任すべしと云ふ

●中學校生徒の遠足　總督府中學校生徒一同は來る十五日午前七時半中學校出發北漢山に遠足すべしといふ

●京城學舍生徒遠足　旭町一丁目京城學舍生徒日鮮人約百名余は來る十七日の祭日を期し北漢山嶺に遠足を試む由

●仁川青年會懇話會　仁川基督教青年會にては本日午後七時より懇話會開催

●總督と大倉氏　寺內總督には目下入京中の大倉喜八郎氏を十三日午後六時官邸に招待し晩餐を共にする由

●人蔘收納終了期　目下開城蔘政課に於て收納中なる人蔘は其查定數約八千斤にして價格四萬圓內外なりとの事なるが多分十五日頃には收納終了すべしと云ふ而して本年の人蔘成育狀況は非常に良好にして三片一斤のものあり從來宮內府時代と雖も四片一斤より良好なるもの發生出來ざりしと云へば本年の成育狀況は未曾有と云ふを得べしと云ふ

公人私人

△新藤寬三郎(檢事)十二日入京不知火
△佐々木敬綱(辯護士)同京城ホテル
△正木良一(三菱造船事務員)十三日平壤行
△前田復三(同上)同上
△若松兎三郎(釜山府尹)十二日釜山行
△大槻龍治(大阪稅關長)同釜山行

●株式電報(明治町西村支店着　南山町曾野商店着)

▲宇治川電氣　十一月限十一月十三日　寄附　引　前場　三七、七〇〇　三七、八〇〇　後場　三七、九〇〇　三七、八〇〇

●仁川米豆取引所

前場　十月限十一月限出來不申▲十二月限寄付十一圓二十一錢▲最高二十一錢▲最低十七錢▲止十七錢

●後場　十月限出來不申▲十二月限寄付十一圓十九錢▲最高十九錢▲最低十七錢▲止十七錢

▲現株之部出來不申

▲鬼怒水電　寄附　引
▲神戸電鐵　寄附　引
▲東京電燈　寄附　引
▲鐘紡　寄附　引
▲大阪瓦斯　寄附　引
▲日本郵船　寄附　引
▲東京株式　寄附　引
▲大阪株式　寄附　引

出來不申　三七、五〇〇　三九、二〇〇　五七、八〇〇　五七、六〇〇　二〇七、七〇〇　一〇六、五〇〇　一〇〇、六〇〇　一〇〇、〇〇〇　一〇六、九〇〇　一〇七、八〇〇　一〇六、四〇〇　一〇七、六〇〇　一一七、三〇〇　一一八、〇〇〇

一六、八〇〇　一六、六〇〇　出來不申　三九、一〇〇　五八、一〇〇　五八、〇〇〇　二〇七、三〇〇　二〇七、〇〇〇　出來不申　一〇七、二〇〇　一〇七、〇〇〇　一〇七、八〇〇　一〇七、三〇〇　一一七、三〇〇　一一八、〇〇〇

●大坂期米電報

●前場　十月限寄付十月十七圓八十錢▲止八十二錢▲十一月限寄付十六圓二十七錢▲止二十四錢▲十二月限寄付十六圓二十七錢▲止十五錢

●後場　十月限出來不申▲十一月限寄付十六圓二十二錢▲止出來不申▲十二月限寄付十六圓十四錢▲止出來不申

▲京城手形交換高▼

十月十三日　金高　一四三、八九八、五〇〇　枚數　五九五

▲茶袋▼

本溪湖炭山の日清共同經營に關し盛宣懷と最後の協商を遂げ國民的事業的の外交に凱歌を奏して來た、七十五翁大倉鶴彥に會つた▲ナニが偖て齋藤別當も物かは、髮は愈々黑く、童顏愈々赤く、明治の代物杯のトッチも及ばざるところだ▲翁の曰く、私も此齡故、イツどんな事があるかも知れませんから本溪湖の事業は私が亡くなつても、獨りで出來るように、チャント出かして來ました、盛宣懷氏ですかあの人は今の處まあ四百餘州中の第一の事業家でしょうね▲渊壽山に行つたとき、盛氏の言ふのに、れ互に寄る齡波の事故、今度の會合が最後となるかも知れぬ、ダカラ紀念の爲め、二人で寫眞をトッテ置からではないかと、ソコで私も同意をして二人で寫眞をトリましたよ▲私の狂歌ですか、イヤ今度の旅行には餘り多くも出來ませなんだが、其中の一ッをれ目に掛ればまあコンナものです、曰く「奉天を下からよみて天ほふの親爺もてゝに事業金つ」▲朝鮮の事ですか、此を良くするのは、寺內さんの御責任でありますから、私風情がトヤコウ云ふには及びません、ダガ一口に申せば、目下朝鮮の開發上最も必要なものは資本の有る事業家であらうと思はれますから、貴君方は內地の資本家を誘入することに精々た勉めが良からうと思はれます▲ナニ併合後內地の資本家がヤッテ來ない、ソレは誰れもが、彼等の誘入に勉めないからであります▲別るゝに臨み鶴彥老人曰く、私の一番好きなものは事業、私の一番嫌ひなものは其筋の補助金、イヤ補助金を貰つて居る銀行や會社なぞには到底仕事は出來ませんからね。



チャンピオン傳(五)

京城券玉家の仇吉 財前ぎん女

京城に於て財前ぎん、とだけで通るのは民團役所の戸籍吏の前斗り、『實は京城券玉家の仇吉事財前ぎん、當年二十八歳に相成ります、ハイ、本籍はアノ大分で御座います、大分は下毛郡の中津で御座います舊藩主は奧平で御座いまして只今子爵で被在います、私は中津は字櫻町の生れで實族は士族で御座います、イエ、別段シブク困りは致しませんでしたが、十二歳の時只今の母、其時分の叔母のまつの養女となりましたので、ハイ當年六十二に成ります、**曙町の山本旅館の隣に世帯を持つて居ります**何うか其安心さして死なして遣り度いと存じまして――私の貰はれて參りました時分は叔母の家は料理屋を致して居りまして相當繁昌致して居りましたのですが今から七年前の三十八年養父で御座います叔父さんが亡くなりましてからツウーッと不幸續きで御座いまして、夫れから後は思ひ出しても涙の種、テナ始末、店を畳んで養母諸共渡鮮致しましたのが**四十年の三月三日、井門の本店**から白酒に食ひ酔つた多瀾の様な面をもちまして『何分宜しう』と罷りツン出ましたが別段面白い運の向いで來る來な御人相でない處へ持つて來て何分養母を抱いて居るものですから四十三年の十二月には何うにも斯うにも成らない女將さんに相談しましたが木で鼻を括つた如な挨拶に正月を控へた大晦日と云ふに廢業して**玉家さんの招牌を借りて四十四年の一月元日**から矢張り元の仇吉で出ましたので、**私一生の望みは養母を何十年の後樂に目**をツブらせたい夫れ斗りです』とホロリとして「マ何うしたんでしう、此客樣のお酒を頂いて居り乍ら身の上話しに身が入つてお酒に水を差すなんて御免下さいまし」と銚子にツツト手を當て「未だ冷めては居りませんた酌致させう……ヱ妾に厭だワよ、隨分先刻から頂いたんですもの、ヱ、顔には何うしても出ないんですの損な性分ですワ……下されば頂戴しますよ、御會計は貴方許のお引受けですからね心配が無いワ、ト思ふとお酒も一層お美味いワ、假りにも思つて見て下さい此方等の身上ではお銚子一本此金何錢何厘也れ丕に一杯が何程とチャンと勘定をして飲まなければ落着いて頂けない、だからお酒が銅貨臭くて美味くないのです、夫れと斯うしてお銚子の通ひは女中さんに頼つてプッ座つたまゝ太平樂で頂くんですから美味いからナカ〳〵酔はない、ヱ、何の位飲んだら酔うかと仰云るの、左樣ね、二三日前内の梅之助さんと三子さんの三人で二升五合空けて、三子さんはカラ下戸ですよ……跡一人で一升五合轉倒かへした所へ恰度お座敷へ出て見ると御贔負になる**善隣商業學校の先生**で直にお酒のお相手を申し付かりましたが其の位下地があつて恰度頃合でした、ウーキツ、アラ少し酔つた如だワ、マア厭だ、モウ此れ一本頂いて止しませう全く養母が心配するんですからね』と酔ねば酔う程養母を氣にする、孝行上戸のチャンピオン(終)

●廣告千圓罰金五十圓

▽滿韓日報の規則違反 元滿韓日報京城支局長吉田松太郎の新聞紙規則違反の第二審は第一審通り罰金五十圓に處せられたり因に廣告料が千圓あつたと云ふから差引九百五十圓は儲けた理由か

●土方の恐喝取財事件

▽製紙會社の建築に關し 田中留吉秋山吉之助の恐喝取財事件第二回公判は十三日午前十一時より京城地方裁判所刑事部法廷に於て塚原裁判長の係り野田檢事立會の下に公判開廷、被告辯護人として木尾岡田兩辯護士出廷せり傍聽人は被告人の妻及請負業者土方業者三十餘名あり前回に於て事實の審問終りしを以て當日は直ちに辯論に移り野田檢事は本件は韓國製紙株式會社の建築工事を技師上田彌藏が工事入札を擔任し開札の結果請負業古川政藏に落札したるも資金調達出來ざる爲め被告田中に讓渡さんとせしに前會社側より田中には信用なしとて村田九一郎なる者に指名請負はしたるより被告等は村田に迫りて金二百圓を強取したるものなりとて懲役一年を求刑し岡田辯護士は金二百圓を受授せしは爭ひなきも右は解約に伴ふ工事準備諸雜費の損害金にして全然民法上の契約解除の損害賠償金にして恐喝取財にあらずと論じ木尾辯護士は該金二百圓は上田が收賄金の內より配當したるの金にして土方慣法と稱する慣習法に基き取得したるものなれば恐喝取財の罪とならずと明白に辯論し無罪を主張し言渡は來る二十三日に決し閉廷したり

●仁川の秋季種痘

仁川に於ては來る十八日より人民一般に對する秋季無料種痘執行さる殊に小兒に於ては出生後六十日經過の者は必ず種痘せざる可らざるにより其父兄は注意を要す因に種痘場所及日時左の如し

十八日寺町尋常小學校、十九日民團樓上、二十日萬石洞入學園、以上は午後二時より四時迄十八日より二十四日迄市中各醫院に於て午前中執務にも無料種痘せらる

●仁川の無錢豪遊

仁川山手町二丁目六番地島たつ方同居米穀買出業増田信太郎(四二)は十一日午後十時頃仁川仲町一富士に登樓し酒肴を命じ藝妓小萬、一若の二名を招き散々の遊興に金十六圓九十四錢を費し主人より代金請求に及びたるに元より無一文なれば無錢遊興を爲すべき覺悟にて登樓したるより種々言を左右に托し支拂はざるより遂に其筋に告訴せられたるを同人の弟山崎某が總金を支辨し事濟となる

●仁川賭博犯人處刑

十一日午後十時頃仁川宮町一丁目人力車帳場內藤和吉方に於て綿谷ふじ、菅原直三、江下卯三郎、末廣茂七、田川庄三郎の六人賭博の眞最中を其筋の手に取押へられ拘引取調べの結果內藤和吉、綿谷ふじは十五圓に其他は十圓の罰金に處せらる

●周旋屋の八々

新町三丁目周旋業丸屋植田仙平(五十)新町三丁目無職宮下孫兵衛木本彥助長嶺女髮結平野しかの五名は十二日午後七時仙平方に於て賭博の現場を南部署に檢擧され各科料金十圓に處せらる

●網を張て法網に罹る

新町三丁目澤田組店員島根縣人中村利三郎(三七)は十月十一日午前十一時四十分頃無免許にて新町裏通り畑中に張網を爲し鳥を保護したりとて告發され狩獵違反にて南部署に於て罰金五圓に即決されたり

●山陽樓の移轉開業

元當地旭町の山陽亭は今回龍山桃山遊廓內に引越し山陽樓と改め多數の新妓を輸入して去る十三日より花々敷店開きをしたり

●懲役一年六ケ月

鹿兒島縣人治濟哉(二十)長崎縣人相良豊(一六)は何れも各懲役一年六ケ月に處せらる

●演藝だより

▲壽座 後藤一行十四日の演し物は十三日同樣德富蘆花子作『不如歸』にて役割は片岡中將、藤野の川島武男、松下の浪子、内田の山木兵造、雪岡の乳母、藤田の加藤夫人孰れも嵌役の事なれば此れこそ見物なるべし

▲御成座 片岡鶴之助一行の浪花節にて一同大車輪にて勤め居れり

▲浪花館 福圓一座の落語、音曲等

●狂言 正直大名(上) 奧

シテ 大名
アト 山伏
太郎冠者

シテ登場『これは此四方に隱れもない大名でおりやる、此度、都の用事濟いたに依り、先づは本國に歸ろうと存ずる、太郎冠者を呼び出いて、鹿島立ちの仕度をさせずばなるまい、やい〳〵太郎冠者』『ハア……』『居るか』『御前に』『念無う早かつた、さて其方も知る通り身共今まで本國の方と都の方と兩方掛持に領分を治めて居申したれど、此度賴うだ方が隱居なされ、寺から養子をとられたにより、身共も都の方の奉公を若い者に致させ、本國に歸り、ゆる〳〵休息な致して、またの春を待たうと存ずる、さればに依つて、本國へ立ち歸る仕度を致せ』『かしこまりました』(間)『イヤ申し殿樣、仕度なすつかり出來まいてムりまする』『さらば立たふぞ』『ヘーイ』『やい〳〵太郎冠者、國元の女房共家來共さぞかし歸りを待ちくたびれて居るであろ、早く歸つて皆々の安心する顔が見たいものじや』『御意にムりまする』『世間の者共は、身共が國元と都の方と掛け持に致すに依り、やれ何のかのと五月蠅く申す、今度歸つたら、一言も口の明かぬ事であろ』『其通りでムりまする』『イヤ何かと申すに早立ち歸つた、身共の歸つたのが嬉しいと見ゑて、いや家來共の出た事はの〳〵皆涙を流いて喜んで居る、うれしやの〳〵どれ〳〵是から一働き働いて皆共の身上をウンと上げてつかはさずばなるまい、太郎冠者、うちの祿もズウイツと増してやるぞ』『有がたい幸せでムりまする』

●本願寺經營 行路病者收容所の三十分(二) 白面子

京城に居たからとて屋賃の出ない大きな家に住むことの權利を持たない自分の住居は決して善美なものでない、鮮人、淸人と軒を接した太平町の裏家である、從つて大概な惡臭には自慢ぢやないが慣れて居る自分が貧血する迄に猛烈な異臭に――然り異臭である、到底比較するものの無い異臭である――タヂ〳〵と踏跟て漸く柱に身を支ね得た自分の顔は色は恐らく蒼白く變じたであらう、其所に居た患者の悉くは覺束なく――伊し急いで――立上つて左右から僕の袖を摑んで心配に堪ねざるものゝ如く『何うなさいましたか』と口々に尋ねて呉れる、好意、實に其好意は感謝に値すべきが、焉んぞ知らん、僕の中毒した**異臭は其の人達の身邊から放散せらるゝ惡瓦斯**であるのだ、有難迷惑と云はうか、最負の引き倒しと云はうか、併し乍ら其刹那に發動したる收容患者諸子の厚き同情心は大きに感謝に値する、諸子の肉體は病に侵されて自由を缺くが諸子の心靈は健康である、幸に自らの爲めに祝福すべきである、僕最初の目的は收容されたる患者の行旅病者と成るに至つた原因事情及患者取扱の狀況等を聞き及び視るにあつたのだが何分の惡臭に堪ねられないので諸子の好意を以て捉へたる袖を拂ひ面を蔽ふて戶外に飛び出し本堂の椽に腰を下して氣を鎭めて扨思ふに彼の異臭は**室內の不潔、汗、垢に汚れたる着衣、蒲團、患者其者身体の汚穢**、此等が入り亂れて一種の作用を起して彼の異臭をなすものと信ぜらるゝ、現に患者の或る者は**收容された以來一回だも入浴した事が無い**と云ふ、此人達が行旅病者として取扱はるゝに至つた原因の多くは自暴自棄の結果なのであらうが今此の寒空に向つて未だ單物を着て病軀を彼の不潔極る室內に橫へて居る所を見ては單に自業自得だと斗りは云つて居られまい、況んや其多數の中には立志傳中の人たらんとして志と違ひ半途病を獲て此所に收容せらるゝ人もあるに於てをやである、本收容所元個人の經營になるもの**十全を望むは無理**であるが苟も佛弟子が皇恩及び佛恩の萬分の一を報じ奉らんが爲めに經營して居るものである以上も少し意を注ぎ心を致すべきである、宗祖**見眞大師の御名に依りて深く希望**せざるを得ない、更らに之れを一般宗教家基督教の牧師、諸佛教派の僧侶等にも一言する、諸君は本收容所を目して只一本派本願寺の獨專經營事業の如く目してか一向此れに力を致さゞるは如何の量見か、近時米價騰貴して他を救ふが如き餘裕なきに依るか又は自己の知つた事ぢやないと爲せるか又は全然坊主は說教さへして居れば宜いものと思つて居るのか(つゞく)



平民文庫

▲先日の御紙平民文庫欄に私宅の事が有りましたが本日より內地人より一層大勉強して京城中の模範湯となります朝も正六時より始めます湯も水も浴槽より流れ出す程何時でも澤山にして居ります亦只今迄無い顔を洗ふ水を本日より出す事に致しました又新聞も五種ありますから勝手に御覽下さい(櫻井町戎湯主人)▲忠告を容れて改良するは宜しいが經濟に伴はぬ改良は永く續かぬから御注意なさい(小僧)▲本町六丁目郵便所前の椽屋理髮店の二十歲位の朝鮮人職人は實に不潔又仕事が荒く實に驚きたり日本人許りの客につき朝鮮人なぞを雇入れると客が無くなるよ日本人は第一が淸潔を好み第二が仕事の善惡なるに付鼻下髭主人能く考へて注意しなさい(日本人客)▲貴紙揭載御用紙京日の金融難に對し京日の辯疏こそ聞き物見物である立聞生の立聞や餘り穿ち過ぎし樣なれど事實は事實として仕方がないであらう▲其所で深水大藏大臣金融の爲め東奔西走トウ〳〵朝鮮側銀行迄借金の申込をなせど哀れやペケを喰はされしとか併し御用紙の事なれば結局圓借でも募集するか(實見生)▲斯くして我日本をして借金國の班を脫せしめぬ樣努力されつゝあるア、(小僧)▲群山榮町友田甚八と云ふ人から下の如き投書があつた▲(前略)本人群山丸にて群山に上陸村上旅館に宿泊の心組の處つたや旅館の客引及主人等申すには他の旅館は濱に迎ひにも出る事出來るけれども私の家丈は許されて居る位なれば不都合は致しませんからと申すに依り三條通つたやに參り九時より市中見物に出でたる處友人に逢ひつたやに宿りたる旨申したるにつたやは人氣惡しく村上に行けと申し候處幸に榮町に座敷貸す家あり此れに移らんとつたやに歸り中食して勘定致し候處支度料二人分一圓六十錢他に荷物四個波止場より運搬料六十錢を取られたり不都合に非ずや▲とあり取調べて旅人の心を安からしめられたし(係)

廣告

第三七號 工事請負入札公告

一 小學校假教場修繕工事

此入札保證金各自見積價格ノ百分ノ十以上

入札者ハ滿二箇年以上斯業ニ從事シ現ニ居留民團稅若クハ直接國稅金五十圓以上ヲ納ムル者ニ限ル

右工事競爭入札ニ付ス請負希望ノ者ハ仕樣書繪圖面規則書及實地等熟覽ノ上本月十四日午前十一時限入札書ヲ當民團役所ニ差出スヘシ即時開札ス

此契約ハ本民團民長古城菅堂之ヲ擔當ス

明治四十四年十月十二日

京城居留民團役所



大阪屋呉服店　支店あり

奥様達が

寒くなったと御心配になる

綿類蒲團

の準備は如才なく整へて居ります

呉服類は

確實に良品のみを取扱ひ價格は充分低廉に綿蒲團の御評判に劣らぬ様に働きます是非共御來店の程願ひます

人は年半生寒くて暮すのですから僅かに本年は整頓致しました

商品切手發賣

御使ひ物代用として最も御便利で御座います

地方の御注文は

迅速確實に御發送致升

京城明治町一丁目（電話二六一番）

唐川呉服店

商標 複方

アンチヘブリン

感冒解熱特効剤

四季のかぜ　はやりかぜ　ねつ痛一切づつうの良薬

發賣元　京都市三条柳馬場角　川杉資善堂

薬價　二日分金拾五戔　五日分金廿五戔

代理店　京城南大門通三丁目　新井薬房

電話九〇四番・一〇六八番　振替口座京城一〇六〇番

入院隨意

中島醫院

京城壽町三丁目（電話三七八番）

院主醫學得業士　中島貞信

大阪人會秋季大會廣告

一日時　十月十五日午後一時

一場所　旭公園下　白水

一會費金貳圓（但同件者金壹圓）

右ノ通秋季大會開催致候間大阪ニ縁故ヲ有セラル、方ハ奮テ御來會被成下度希望致候也

追テ十四日中ニ左記最寄幹事へ便宜御申込被下度候

本町四木島時計店　本町四渡邊中齋　本町三池田長兵衛

本町四三田政次郎　明治町二大島良吉　旭町一宮津一郎

同野々村藤助　南大門通三新井薬房　本町五中村政次郎

京城大阪人會幹事

懐中良薬



消化と毒けし

仁丹

●諸君いつも仁丹を召し上れ

香味芳香優絶の仁丹は……

……最もよろしく……

朝鮮代理店　京城南大門通三丁目　新井薬房

獵銃　獵具　火薬

増戸銃砲店

京城本町六丁目

眞正の アイボリー石鹸



米國製 アイボリー

石鹸に偽物あり　包紙に御注意を乞ふ

榊歯術所

京城明治町一丁目（森、村質店隣）

電話は（六六九番）へ

公債 株券 諸現物 賣買

定期株米仲立業

京城明治町一丁目

西村商店

電話一七六番　一九二七番

龍山本町三丁目

西村出張店

電話一二〇番

歯科診療

京城南山町二丁目（天眞樓寫眞館隣）

歯科醫　楢崎東陽

電話千三百六十番

冬物大賣出し

拾月拾五日より同貳拾壹日まで七日間

右期日中新柄取揃へ大賣出し仕候御買上げ金高に應じ相當の御添物進呈可仕候尚見切反物並に釣切等澤山準備仕候

京城本町四丁目

山口呉服店

電話九番

京城本町五丁目

山枝呉服店

電話二二四番

京城本町三丁目

圓城呉服店

電話一五七番

京城本町二丁目

惠阪呉服店

電話七二六番

京城本町四丁目

末永呉服店

電話六八二番

朝鮮仁川港

木綿、太物　メリヤス　紙、文房具　鑵詰、食料品　干物、雑貨　金物、荒物　日本向　鮮人向　洋傘

帝國化粧品研究所　明月あらい粉代理店

御商

小林倉二郎商店

電話三六番　振替口座京城一九九番

歯科診療

京城本町二丁目三越呉服店前

野田歯科醫院

仁川仲町三丁目末永呉服店隣

野田歯科醫院分院

牛馬犬猫

治療所

入院隨意

京城明治町三丁目

院長　小川家畜醫院

小川龜太郎（電話四二七番）

◉誠ハ弊店ノ主義也



釀造元

仁川港宮町三丁目

深見勝三郎

電話二四八番　電信略號（フ）

直輸入新荷着

實用堅牢車

ピアス

米國代表車

自轉車　銃砲火薬　直輸入商

京城明治町一丁目（電話三〇二番）

龍川銃砲店自轉車部

酒精アルコール

●新荷着

仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）

坂倉支店

陸軍指定旅館　仁川港

鐵道院指定旅館

仁川水產組合指定旅館

第一保險會社指定旅館

旭屋旅館

電話二五一

弊館には夜警の設備有り　御客様の安全此の上なし

★株式會社百三十銀行京城支店

（電話五十八番　振替貯金口座一三番）

資本金五百萬圓

頭取　安田善三郎

爲替取組先

畿内　大阪、伏見、神戸、兵庫、京都、西陣、堺、高田、郡山、奈良、八木、田原本、平野、住吉、岸和田、下市、茨木、御影

東海道　東京、横濱、大磯、靜岡、甲府、津、岡崎、濱松、宇田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉

東山道　宇都宮、大垣、岐阜、大津、八幡、長濱、多賀、長野、高崎、前橋、若松、福島、秋田、能代、土崎港、青森、仙台、北方、加納

北陸道　金澤、小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、宮津、高岡、富山、伏木、新潟

山陰道　米子、境、松江、久手、太田、倉吉

山陽道　岡山、姫路、龍野、網干、岩見、西大寺、倉敷、高梁、尾の道、笠岡、新見、三原、廣島、呉、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、長府、下關、府中

南海道　和歌山、田邊、御坊、新宮、見里、串本、高松、坂出、觀音寺、川之石、今治、西條、松山、吉田、洲本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養、鳴門

西海道　門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎、八幡、小倉、中津、行橋

北海道　小樽、函館、札幌、旭川

台灣　臺北、臺南

樺太　大泊

朝鮮　仁川、釜山、平壌、鎭南浦、元山、群山、木浦、馬山、全州、晉州、光州、大邱、羅南、新義州、城津、開城、清州、大田、金泉、公州、水原、安東縣、大連、營口、奉天、旅順

清國　安東縣、大連、營口、奉天、旅順

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

飲みすぎ食ひすぎに

ピットル散

本舗　大阪市江戸堀　猪飼史郎

各薬店ニアリ

代理店　京城南大門通三丁目　新井薬房

電話九百四番・千六十八番　振替口座京城十六番

名譽賞牌受領

キリンビール

芙江公州間定期出帆

芙江發毎日後一時四十分公州着後六時

公州發毎日前七時芙江着後四時宇船内

御客様の娛樂用として新聞雑誌碁将棋

盤等の備付あり

京釜芙江驛前　中條運送芙江支店

瀛船出帆廣告

十月中

安來丸　屯串行　十月十四日前八時

天草丸　海州行　十月十六日前十時

成歡丸　鎭南浦行　十月十四日前十時

海利丸　海州行　十月十六日前六時

成歡丸　大連芝罘行　十月十五日前十時

仁川本町大西四丁目　電話一七三番・七七〇

合資會社　秋田商會船舶部